



「広い駐車場スペースも活用して他のコンビニとの差別化を図りたいです」(江口さん)

## 苦境の中で希望を見いだすことができました

合資会社並木商店  
江口 恵美子さん(左)



当店は、先代が大正10年に並木酒店としてこの場所に創業しました。昭和52年にボランタリーチェーンに加盟し、現在に至るまで地域のためのお店づくりを心掛けています。

平成22年に経営者の父が突然他界。仕入れ、販売、雇用、労務管理に至るまで、高齢の母に代わって私が行うことになりました。

突然のことで困惑していた矢先、近くに大手コンビニが出店し、一日の来店者数が激減した上に、売り上げも大きく落ち込みました。

どうしたらよいのか困り果てた私は、商工会議所にアドバイスを求めたのです。費用をあまりかけなくてもできる実践的な方法を相談したところ、秋山さんから、東京都の経営課題解決支援事業や、中小企業大学の企業診断制度を教えてくださいました。

今年の8月から2カ月間、中小企業診断士の方々に来ていただき、商品のレイアウトやお客さんの動線など内部環境をリ

サーチしました。さらには最寄り駅周辺の人たちへのヒアリングなど、多岐にわたる調査をしてもらいました。

経営について知識を深めることができただけでなく、私一人では気付けなかった課題を知ることができました。陳列方法やPOPのデザイン、駐車場の活用方法など、細かい部分から店舗全体のことに至るまで多くのアドバイスをいただいたので、できるものから少しずつ実践しています。

POPは、お客さまに親しみを持つてもらいやすいように手づくりをしています。「どんなPOPが目を引くだろう」と、従業員も意欲的に取り組んでくれて、意識改革にもつながっているようです。

これまではあまり利用したことがありませんでしたが、商工会議所が持つ広いネットワークを活用することで得られるものは大きいと実感しました。今後もし新しい情報を紹介してもらえたいように積極的に利用していきたいですね。

》ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ！

担当者からひと言



むさし府中商工会議所(東京都) 中小企業相談所 振興活性化課 地域振興係長  
秋山 亮

一生懸命な江口さんのために、何とかできないものかと検討を重ね、数ある専門家支援制度の中から今回の企業診断制度を提案させていただきました。

日頃から密なコミュニケーションを取っていたからこそ、江口さんが本当に必要なとしているものを考えることができました。江口さんは診断で学んだことを一つずつ実践しているところです。

お店にも少しずつ変化が見られるので、売り上げにも効果が表れると期待しています。地域で一番のお店になるために、今後も身近な相談相手として必要に応じた手助けができればと思っています。

商工会議所は、企業さまと一緒に becoming 問題解決を図っていきます。ささいなことからお気軽に相談ください！